

Hina Doll Festival of the Owari Tokugawa Family

2022.**2.5**(SAT)

開館時間:午前10時~午後5時[入館は午後4時半まで] 休館日:月曜日※但し、3月21日(月・祝)は開館、翌22日(火)は休館 観覧料:一般1,400円高大生700円小中生500円 ※20名様以上の団体は一般1,200円、高大生600円、小中生400円※土曜日は高校生以下入館無料

催:徳川美術館·名古屋市蓬左文庫·中日新聞社力:名古屋市交通局

問合せ先:徳川美術館 TEL:(052)-935-6262 FAX:(052)-935-6261 名古屋市蓬左文庫 TEL:(052)-935-2173 FAX:052)-935-2174 〒461-0023名古屋市東区徳川町









■きっぷ・一日乗車券を利用してご来館の方は、観覧料割引!

-般1.400円→1.200円 高大生700円→600円 小中生500円→400円





今年で35回目を迎える本展では、江戸時代の尾張徳川家の姫君のためにあつらえられた雛人形や、婚礼調度のミニチュアである雛道具、明治時代から昭和時代にいたる尾張徳川家3世代の夫人たちの豪華な雛段飾りなど、春を迎える喜びと華やぎに満ちた品々を展示します。

数ある雛飾りのなかでも、尾張徳川家14代慶勝の正室・矩姫が所持した有職雛は、大名家の高い格式を示す気品に満ちた作品です。今年度、このうち男雛1体の装束・頭髪を、皆様からお寄せいただいた活動支援基金により修理いたしました。髪を結い直し、新調した黒色の装束を身に着けた男雛の晴れ晴れとした姿を、ぜひご覧ください。



尾張徳川家3世代の雛段飾り

作中行事の今と出 「Mark Library, City of Nugaral 東教付 方義長羽子板

毎年一定の時季に繰り返される年中行事は、季節の移ろいの中で人々の生活に欠かすことのできない文化・慣例として受け継がれてきました。年中行事には、上巳の節供(雛まつり)など、現在の文化に色濃く引き継がれている行事もあれば、今では我々の生活から縁遠くなってしまった行事、あるいは変容して息づく行事などもあります。

本展では、五節供を中心に江戸時代の様々な年中行事を 紹介します。



徳川直七郎節供旗飾図(展示期間:2月5日~3月4日)

特別公開 千利休 泪の茶杓 2月19日(土)~3月1日(火)



「表紙の作品]

- 【表紙の作品】 ・右聯維 毎姫(尾張家14代慶勝正室)所用
- ·重要美術品 華洛四季遊戲図巻(上巻部分)
- *里安夫術品 華冷四学班畝図巻(上巻部分) 詞書 高橋宗直筆・絵 円山応挙筆(会期中、巻替あり)

[土曜講座]

★ 年中行事絵の歴史

学芸員 薄田大輔 会場:講堂 日時:2月19日(土) 午後1時30分~午後3時(開場:1時)

★ 史料からひもとく尾張徳川家

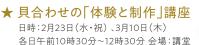
— 刀装具をめぐる「金」について —

学芸員 板谷寿美 会場:講堂 日時:3月12日(土) 午後1時30分~午後3時(開場:1時)

[特別企画]

★ オリジナル香り袋・文香をつくる

日時:2月20日(日) 会場:講堂 午前の部:午前11時~12時/午後の部:午後2時~3時





[特別企画]

雛まつりフォトスポット

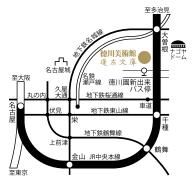
名古屋の老舗・大西人形本店(中区丸の内)による 雛人形を玄関ロビーにて展示公開

[関連企画]

文化のみち雛巡り(シールラリー)

2月5日(土)~3月6日(日)

★のイベントは有料・事前申込制です。 空席があった場合のみ当日受講可能。 詳しくはHPをご覧ください。



- ●基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
- ●メーグル「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車
- ●JR中央本線「大曽根」駅下車 南口より徒歩10分

[新型コロナウィルス感染症予防対策]-

・マスクを着用してご来館ください。 ・入口にて検温を実施しております。 ・展示室内での会話はお控えください。 ・今後の状況によっては、展覧会・イベントが変更・中止となる場合がございます。